

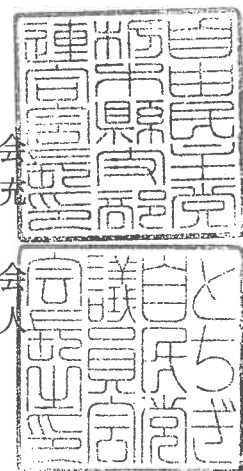
豚熱（CSF）の防疫対策に関する緊急要望書

令和3年4月19日

栃木県知事 福田 富一 様

自由民主党栃木県支部連合会
会長 茂木 敏 充

とちぎ自民党議員会
会長 螺 良 昭



令和3年4月17日に那須塩原市内の2カ所の養豚場において豚熱の感染が確認され、市町や関係団体、自衛隊などと連携して、約37,000頭の殺処分を行うこととなった。

平成30年に岐阜県で豚熱が発生して以来、全国で最大規模の殺処分となっており、発生農場における防疫措置の迅速な終息を図るとともに、県内の他農場への感染防止対策などを徹底していく必要がある。

このため、下記について緊急に要望する。

記

- 1 国や市町、関係団体等と十分な連携を図り、速やかに、豚熱が発生した農場の飼養豚の殺処分、埋却、消毒等の防疫措置を行うとともに、県内の他農場への感染防止対策に万全を期すこと。
- 2 豚熱が発生した養豚農家が経営を再開できるよう、万全の支援を行うこと。
- 3 風評被害が発生しないよう、県産豚肉の安全性について広くPRを行うこと。
- 4 野生イノシシの捕獲や経口ワクチン散布などの対策の強化を図ること。
- 5 防疫措置に必要な防護服、マスク等の資材、動力噴霧器等の機材について、緊急事態に対応できるよう十分に備蓄するとともに、定期的な更新を図ること。
- 6 豚熱の発生予防には、子豚へのワクチン接種をこまめに行う必要があることから、養豚農家等による接種を可能とする制度改正について、国に要望すること。
- 7 とちぎ食肉センターが保有すると畜データ等を総合的に活用し、豚熱等の疾病予防対策に生かすこと。